

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域文化研究科)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	4	31%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	3	23%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	3	23%
D	大学院修了という学歴がほしかいから。	1	8%
E	将来に不安を感じたから。	1	8%
F	時間に余裕が出来たから。	0	0%
G	その他	1	8%

G:理由

地文M1	沖縄に住みたかったから
------	-------------

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	2	22%
B	先輩	1	11%
C	学内での説明会	2	22%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	1	11%
F	本学ホームページ	3	33%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	0	0%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	4	44%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	1	11%
D	課題の発見に関する研究	4	44%
E	課題の解決を目指す研究	0	0%
F	実践的応用に関する研究	0	0%
G	その他	0	0%

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	1 (20%)	3 (30%)	1 (20%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	1 (20%)	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	0 (0%)	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域文化研究科)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	0	0%
1～2科目	0	0%
3～5科目	1	20%
6～10科目	0	0%
11科目以上	4	80%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	5	100%
B	ない	0	0%
C	科目の履修はしていない	0	0%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地文M1	特殊研究 社会倫理学特論	論文の作成方法、調査の方法について学ぶことができたから 批判的考察の方法を実践的に学ぶことができたから
地文M1	南島民俗文化特殊研究Ⅱ	不定期でゼミの先輩方を先生が招いて下さり、研究に対する姿勢や論文の作成方法等、修士論文作成に際し有益を獲得することができる点
地文M1	研究法	
地文M1	研究法など	論文を批判的に読む方法、なぜこの論文が、原著にはなれなかったのか、よくない部分は何か、読みあせた上で考えていくので、多方面から読み解く訓練になった点
地文M2	認知心理学特論	研究を行う上で大切な基礎心理学の知識を深めることができた点

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	1	20%
B	ない	3	60%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	1	20%

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。

	科目名	理由
地文M1	植民地社会特論Ⅰ	教員が一方的に話をし、その途中学生が質問や指摘をした際嫌な顔をする点。

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	3	60%
B	満足していない	0	0%
C	どちらでもない	1	20%
	無回答	1	20%

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ) 該当なし

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域文化研究科)

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	4	80%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	0	0%
	無回答	1	20%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。 該当なし

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	3	60%
B	満足していない	1	20%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	1	20%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地文M1	13-605の共同研究室の印刷機が頻繁に故障(紙詰まり等)する為、変えてほしい。
------	--

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	4	80%
B	たまに利用している	0	0%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	1	20%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地文M1	設置の問題ではなく、利用者のモラルの問題かもしれませんが、院生用のパソコン室の電源をおとさず、画面に文書などを表示したまま帰る、飲料を持ち込む、暖房をつけるなど基本的なコンピューターリテラシーが理解できていないのではと感じることが多いです。 まだ1日中つけっぱなしならば、パソコンの立ち上がりが驚くほど遅く(5分以上かかる)、課題・論文作成などに支障がでるので気持ちもわかるのですが、学期中つけっぱなしによってパソコンを占有している方がいて驚きました。そこで、コンピューターや画面のコンディションを保つためにも、休暇前には、すべてのパソコンの電源を落とすなどの措置をしてもよいかと思えます。または、パソコンの立ち上がりを早くするなど改善いただければと思います。
地文M2	パソコン室利用に関して、法律関係の方々が大量の本を置きっぱなしで帰ってしまうことが多く、お菓子のゴミなども置かれている。席の独占が著しく多くて困っている。改善してほしい。

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	1	20%
B	行っていません	2	40%
C	過去に経験があります	1	20%
	無回答	1	20%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	1	100%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M1	指導教員の立場をより理解するため
------	------------------

「2014年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(地域文化研究科)

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	1	50%
B	してみたくない	1	50%
C	どちらでもない	0	0%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M1	将来教員になり学生の指導を行うようになった折、役に立つと思うため。
地文M1	仕事があるので時間がありません。

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	4	80%
B	知らない	0	0%
C	興味がない	0	0%
	無回答	1	20%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	0	0%
B	たまに利用している	1	20%
C	全く利用していない	3	60%
	無回答	1	20%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	0	0%
B	たまに参加している	2	40%
C	全く参加していない	2	40%
	無回答	1	20%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地文M1	社会人に門戸を開いてくれているのは感謝していますが、集中講義履修のために連続で有給休暇を取るの難しいので、大学の休暇期間であっても、土日や普段の授業時間に開講してもらえると履修がしやすいです。
------	--